



2025年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年12月12日

上場会社名 株式会社カドス・コーポレーション 上場取引所 東
コード番号 211A URL <http://cados.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 博文
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 那須 聖 (TEL) 083-974-5007
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第1四半期の業績 (2024年8月1日~2024年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	1,734	—	173	—	171	—	119	—
2024年7月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第1四半期	118.31	108.68
2024年7月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2024年7月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年7月期第1四半期	8,021	—	4,134	—	51.5
2024年7月期	8,403	—	4,100	—	48.8

(参考) 自己資本 2025年7月期第1四半期 4,134百万円 2024年7月期 4,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2025年7月期	—	—	—	—	—
2025年7月期(予想)	—	0.00	—	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の業績予想 (2024年8月1日~2025年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	3.5	685	7.5	674	12.1	439	8.3	433.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年7月期1Q	1,012,500株	2024年7月期	1,012,500株
② 期末自己株式数	2025年7月期1Q	一株	2024年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年7月期1Q	1,012,500株	2024年7月期1Q	一株

(注) 当社は、2024年7月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年7月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の賃上げによる所得環境の改善や好調なインバウンド需要に支えられ、景気は緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、長引く物価高による個人消費の伸び悩み、円安の長期化、ウクライナや中東における国際情勢の緊張への不安もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましても、政府による建設投資や民間設備投資は堅調に推移しているものの、依然として建設資材価格の高止まりや、技能労働者不足による労務費の高騰が建設コスト全体の上昇につながり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社は、建設事業においては、ドラッグストア、食品スーパー、家電量販店、ホームセンター等の大型店舗出店企業や飲食店、コンビニエンスストア等の中・小型店舗出店企業のうち、出店意欲の強い得意先をターゲットとする一方で、高騰する原材料価格の工事原価への影響を販売価格に転嫁するという、生産性の向上を意識した営業活動を行ってまいりました。さらに、受注案件の平準化を目的としたテナント情報と土地情報の収集にも引き続き注力してまいりました。建設工事の進捗管理面におきましても、工期についての取引先ニーズを優先しつつ、無理のない安全な工程により工事を進められるよう、営業部門と工事部門の一層の連携強化により、円滑な工事の進行を推進してまいりました。

不動産事業においては、収益規模の安定・拡大を図るため、不動産賃貸等に加え、不動産販売についても前期に続く当期中の売上実現に向けて情報収集に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、前期末時点の受注残高や、当期受注物件の進捗により、1,734百万円となりました。利益面につきましては、生産性を意識した営業活動の推進により、売上総利益率は19.7%と上昇傾向となりました。また、販売費及び一般管理費については、収益物件取得に伴う一時費用の発生等により167百万円となりました。以上の結果、営業利益は173百万円、経常利益は171百万円、四半期純利益は119百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

(建設事業)

当第1四半期累計期間における受注高は、2,919百万円となりました。完成工事高は1,433百万円、第2四半期への繰越工事高は3,403百万円となりました。また、労務費や建設資材価格の高騰による工事原価の負担もありましたが、セグメント利益は116百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業売上高は、当期首において取得した賃貸物件による不動産賃貸収入の増加により300百万円、セグメント利益は57百万円となりました。

なお、当社は、2024年7月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の資産合計は8,021百万円、負債合計は3,887百万円、純資産合計は4,134百万円となり、前事業年度末と比べ総資産は381百万円減少しております。

(資産)

流動資産は前事業年度末と比べ1,255百万円減少し、2,162百万円となりました。収益物件としての「建物」「土地」の取得や「長期借入金」の繰上返済などにより「現金及び預金」が1,631百万円減少した一方で、「受取手形・完成工事未収入金及び契約資産」が371百万円増加しました。

固定資産は前事業年度末と比べ873百万円増加し、5,859百万円となりました。収益物件としての「建物」「土地」の取得などにより有形固定資産が737百万円増加、投資その他の資産が144百万円増加したことが主な要因であります。

(負債)

流動負債は前事業年度末と比べ562百万円増加し、2,087百万円となりました。「1年以内償還予定の社債」が「社債」(固定負債)からの振替により500百万円増加したことが主な要因であります。

固定負債は前事業年度末と比べ978百万円減少し、1,799百万円となりました。「社債」が「1年以内償還予定の社債」(流動負債)への振替により500百万円減少、「長期借入金」が612百万円減少(繰上返済を含む)した一方で、収益物件の取得により「資産除去債務」が92百万円増加しました。

(純資産)

純資産は前事業年度末と比べ33百万円増加し、4,134百万円となりました。配当金を86百万円支払いましたが、四半期純利益を119百万円計上したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年9月12日に公表致しました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,443,971	812,804
受取手形・完成工事未収入金及び契約資産	432,024	803,135
販売用不動産	371,235	371,235
未成工事支出金	1,933	12,562
貯蔵品	431	501
その他	168,852	162,917
貸倒引当金	△669	△669
流動資産合計	3,417,779	2,162,487
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,792,004	2,163,539
土地	1,686,200	1,839,733
その他（純額）	236,070	448,877
有形固定資産合計	3,714,275	4,452,150
無形固定資産	387,099	377,933
投資その他の資産		
繰延税金資産	270,383	298,212
その他	614,024	730,898
投資その他の資産合計	884,407	1,029,110
固定資産合計	4,985,782	5,859,194
資産合計	8,403,562	8,021,682

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	600,918	646,979
1年以内償還予定の社債	—	500,000
1年以内返済予定の長期借入金	255,097	205,268
未払金	98,837	140,417
未払法人税等	101,056	84,600
未成工事受入金	134,671	151,617
賞与引当金	102,000	153,000
完成工事補償引当金	11,700	13,400
その他	220,504	192,131
流動負債合計	1,524,785	2,087,412
固定負債		
社債	500,000	—
長期借入金	1,336,341	723,580
退職給付引当金	83,477	89,423
役員退職慰労引当金	184,908	186,483
資産除去債務	88,203	180,326
その他	585,029	619,912
固定負債合計	2,777,959	1,799,725
負債合計	4,302,745	3,887,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,043	119,043
資本剰余金	834,237	834,237
利益剰余金	3,147,535	3,181,263
株主資本合計	4,100,816	4,134,544
純資産合計	4,100,816	4,134,544
負債純資産合計	8,403,562	8,021,682

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2024年 8月 1日 至 2024年10月31日)
売上高	1,734,754
売上原価	1,393,475
売上総利益	341,278
販売費及び一般管理費	167,483
営業利益	173,794
営業外収益	
受取利息	1,441
その他	347
営業外収益合計	1,788
営業外費用	
支払利息	4,175
その他	187
営業外費用合計	4,362
経常利益	171,221
税引前四半期純利益	171,221
法人税、住民税及び事業税	79,259
法人税等調整額	△27,828
法人税等合計	51,431
四半期純利益	119,790

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期 損益計算書計 上額(注)
	建設 事業	不動産 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,433,775	300,979	1,734,754	1,734,754	—	1,734,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,433,775	300,979	1,734,754	1,734,754	—	1,734,754
セグメント利益	116,640	57,154	173,794	173,794	—	173,794

(注) セグメント利益は、損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2024年 8月 1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	64,228千円